



下野郷館跡の位置



今回は市の東部、下野郷字館内、館外に位置する「下野郷館跡」を紹介します。この遺跡は中世（鎌倉時代）～近世（江戸時代）の城館・屋敷（防御施設を兼ねた武士のすまい）跡です。五間堀川の川改修工事に際し、平成25年（2013）～平成29年（2017）にかけて調査が行われました。中でも平成28年度の調査ではいろいろな設計でつくられた井戸の跡などが複数見つかりました。



これは
びっくり!

ふるさと展示室
キャラクター
あぶ
阿武クマさん

下野郷館跡は

井戸跡のテーマパーク!



その1

素掘りの井戸



その2

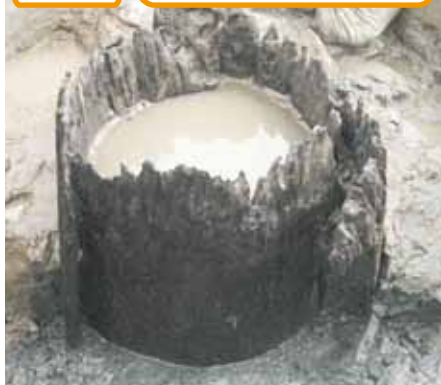
井戸の底面から木枠を組んだ井戸



井戸の四隅に木枠を置き、木で横棧（横に並べた木の骨組み）を取り付け、外側に葦を縦に並べて立てた井戸

その3

丸太をくり抜き 木枠を組んだ井戸



その4

素掘りと木の井戸枠の井戸



その5

底を外した桶と石積みの井戸



当時の井戸は素掘り（穴を掘った後に、井戸枠を設置しない作り方）が一般的で、その4、5の井戸は県内でも類例がほとんどなく、大変珍しい発見となりました。なぜここに豊富な種類の井戸がつけられたのかは現段階では分かっていません。

なんでだろう?

